

# 神のおとずれ

日本聖公会 神戸教区報



2020年  
8月号

発行所  
神戸教区事務所  
TEL 078(351)5469  
FAX 078(382)1095  
<http://www.nskk-kobe.org/>

発行責任者  
司祭 上原 信幸

印刷所  
文明堂印刷所

## 「人生の秋」に教会を思う

### 「収穫は多いが、働き手が少ない」 マタイによる福音書第九章二十六節後半

司祭 デオヌシオ 遠藤 雅巳



私は、昨年司祭に叙階されるまで、二十年以上の長きにわたって執事として、内外の聖公会系大学の教員を務めてきました。神戸国際大学に赴任してからも、神戸聖ミカエル教会で主日説教をする以

外、牧会に携わったことはありません。聖職退職年齢の七年前ほど前に、某主教から、今年ほど前に、「働き手が少ない」聖公会では「働き手が少ない」のだから、退職までの期間を司祭として働くように求められ、非才を顧みずお引き受けしました。

しかし本当に、聖公会の「働き手(教役者)」は少ないのでしょうか。二〇一九年十二月末の統計によれば、日本聖公会の教役者は、囑託・神学生も含め二四二名、内聖餐式

を司式できる職位(主教、司祭)の聖職数が、海外からの司祭二十七名を含め一八三名です。全教会数二七七(十伝道所三十二)ですから、各教会に牧師(司祭)を派遣できないと言う意味では、「働き手が少ない」と言えるでしょう。

教会の現状を憂いている皆様からは、そんなことを今さら知ったのかと言われそうです。しかし実は、これを教区別に概観し、十年後を推計すると、ぞっとする状況が見えてきます。現在、一人の聖職が二つ以上の教会を司牧しなければならぬ教区を挙げると、北海道教区(現聖職者十三名)、東北教区(十一名)、九州教区(十名)です。十年後に教役者数が十名以下になる教区は、北海道(八名)、東北(五名)、北関東(十名)、九州(七名)、沖縄(五名)ですが、教会数から三教会以上を一人の聖職が司牧しなければならぬ教区には、横浜、中部、大阪の各教区も含まれます。

り、「働き手は少くない」のです。

(神戸聖ペテロ教会牧師)

# 新執事誕生!!

## コロナ対策下で初の接手式!

六月二十日(土)、徳島インマヌエル教会に於いて宮田裕三聖職候補生の執事接手式が小林尚明主教司式のもと執り行われました。

今回の接手式は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、当初予定していた三月二十一日(土)の接手式が延期になり、徳島伝道区各教会からの強い嘆願により実現しました。当日は三密を避けながらの接手式を執り行うために、

参列者を限定致しました。そのため、多くの方々に参列のお断りしなければなりませんでしたが、この場を借りて、お詫び申し上げます。

参加人数を限定したことから、当日はインターネットでのライブ配信を試みました。参列者二十名、ライブ配信の同時視聴者約七十名、録画視

聴者約五〇〇名以上、多くの方々からライブ配信を見ましたとの報告がありました。中でも「いつもならば会衆席に居るのですが、今回は画面越しに接手の場面を間近で見ることが出来て良かった」との感想も聞かれました。

芳我秀一司祭は、説教の中でガラテヤ書六章九節「たゆまず善を行いましよ。飽きずに励んでいれば、時が来て、実を刈り取るようになります。」から「キリストの恵みに生きることによって、疲れることのない奉仕を行うことが出来るので、たゆむことなく執事としての奉仕職に励んで下さい。」とのメッセージを述べられました。

公会の執事としての働きを期待したいと思います。

(広報部)

## 「時が満たされる」 執事に叙任されて

執事 ルカ 宮田 裕三

新型コロナウイルス感染拡大に伴って神戸教区聖職接手式の延期が決まり、「自分らしいハプニングだなあ」と家



族と話したことを記憶しています。聖職の道を歩むことになった時も、ある種のハプニングのようなもので、あれよあれよという間に聖職への道を歩んでいました。その時々

に思うことは「時が満たされる」という体験です。私自身の信仰の中心には「神様にゆだねる」という神様への圧倒的信頼があります。違う見方をすれば「神様にゆだねない」と、とてもではないけれど、

自分の苦しみや悲しみを受容することができない」という弱さの裏返しでもあります。ですから、接手式の延期が決まった時には「あぁ、やっぱり神様にはまだ許されていないんだなあ」とスツと理解しました。周りの方々は気落ちしないようにと「神様にはすでに許されていて、その時を待っているだけだから気にしなくても大丈夫ですよ」と励ましの言葉をいただきました。どちらにしても神様とともに歩んでいくことを強く感じさせられる出来事です。多くの方々のお祈りとお支えによって無事に執事職として立てられました。翌日には、早速み言葉の礼拝と陪餐を行い、徳島聖テモテ教会の方々とパンとぶどう酒(時節柄ぶどう酒をつけたパンのみ)を分かち合うことができました。

一人でも多くの方々にキリストの福音とその喜びを伝えたい、分かち合いたいという希望が一つ叶いました。公会の執事として奉仕の業をたゆまず努めてまいりたいと思います。改めて感謝を申し上げます。皆様のお祈りとお支え、心からありがとうございます。

徳島インマヌエル教会・  
徳島聖テモテ教会・  
富岡キリスト教会・  
鳴門聖パウロ教会 牧師補







『執事按手式』

六月二十日(土) 午前十時半から、徳島インマヌエル教会を会場にルカ宮田裕三聖職候補生の執事按手式が行われました。当初、三月に予定していました按手式がコロナ禍で延期になってしまったのです。

一日も早く按手を行ってほしい、という徳島伝道区四つの教会からの嘆願を常置委員会も承認して下さって、コロナ感染に十分配慮した形で行うことが出来ました。感謝。

『按手式前の黙想指導』

指導司祭の芳我秀一先生から、今回の黙想指導をカトリック教会オブレート会ステイブ神父さんにお願ひしたい、というお話がありました。

宮田先生に聞けば、今回のコロナ禍の中で、徳島の牧師さん達との交流が深まり、「球根の中には」という賛美歌を、テレワークで

歌って、動画を作り発表しました。そのことが信徒の方々に大変喜ばれ、キリスト新聞や徳島新聞の記事にもなりました。その活動の中で、ステイブ神父さんとも出会われたそうです。

ステイブ神父さんからどういう黙想指導をしていたいたんだらうと思ひ、宮田先生にお尋ねしますと、黙想に使われたレジメと感想を報告してくれました。

すっかりしたレジメと宮田先生の感想から、黙想指導も上から教えるということではなくて、黙想者に同伴するという姿勢でした。黙想者が気づいたことをよもつと深いところまで導いてくださるという指導でした。最後には、次の司祭按手までの宿題まで、用意してくださっていました。

『面会』

どうしてもステイブ神父さんにお会いしたく、面会時間の約束をして、按手式前日のリハーサル前に、カトリック徳島教会を訪問しました。お話を伺って、素晴らしい賜物をお持ちですし、やはりオブレート会としての靈性に裏打ちされているんだらうなあ、と感じました。一度お招きして教区の黙想会の指導をしていただきたくと思つた次第です。

(神戸教区主教)

# 防災特集

## 「そなえよつねに」～災害のための備え～

教会に備えは出来ていますか？いざという時に教会は、社会のどの位置に立つことを想定していますか？教会は誰ののですか？

「そなえよつねに」は、ボーイスカウトのモットーです。「いつ何時に、いかなる場所で、いかなる事が起こった場合でも善処が出来るように、常々準備を怠ることのないように」というボーイスカウトの規範です。長年ボーイスカウト運動に関わつて来た者として、日常生活においてもこのモットーは大きく影響しています。ボーイスカウト運動の素晴らしいところは「いつも他の人びとを助けます」という誓いを立てることです。そのために自分自身を研鑽し、いついかなる時でも他の人びとを助ける備えができています(理想かも)。

反対に「教会で支援活動をするからその機材一式を用意しています」という教会もあるかもしれません。

出来ることならば「備え予算」を年間予算の中に立てていただき、その中に「備品としての資材」と「食料や燃料」などの消耗品として「ローリングストック」をしながら備えておく、両方の備えをしていただきたいと考えています。「自分の教会」が災害に遭わなくても、他の教会が災害に見舞われた時に、備えていた物が役に立ちます。東日本大震災の際には西日本から届く物資に助けられました。教会は、社会の中で信用されている組織の一つでもあります。「教会に行けば何か助けてくれるかも」という心理があります。また新型コロナウイルス感染症予防のために、従来の避難所では、人数制限が検討されており、指定避難所に入れないことが予想されます。その際には、教会も避難所の役割を担うことも想定しておいた方が

良いと思われれます。

具体的な備えは、備品としてカセットコンロ、カセットガス、ブルーシート、ビニール紐、ガムテープ、寝袋や毛布などの簡易寝具、ガソリン携行缶、マスク、歯ブラシや歯磨きなどのアメニティグッズ、懐中電灯ほか。これらは、自らの被災時にも、他の地域の被災時にも役に立ちます。ぜひ備蓄をご検討下さい。消耗品は、アルコール消毒液、飲料水、食料、ガソリン、電池、その他、これらは「ローリングストック」として、消費期限、使用期限を検討しながら、適宜消費しつつ備蓄を行う方法で備えておくことが望ましいです。

一体これらのことをなんのためにするのだろうか？という疑問があると思います。これらは「善きサマリア人のたとえ」に出てくるサマリア人の行いの実践です。いつ何時でも目の前で困っている人がいたら手を貸してあげることが出来るように、教会として「そなえよつねに」という思いとともに、実践でも備えができていくことを望みたいと思ひます。

(執事 宮田裕三・社会部)

# 鳩だより

## ご逝去

六月八日(月)  
リベカ山本幸子  
神戸昇天教会

### 諸行事中止のお知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、左記の行事が中止となりました。

○青年交流会



神戸教区 YouTubeチャンネルをご利用ください。

新型コロナウイルスの影響で教区内各教会では、公の礼拝を休止していました。現在では、多くの教会が様々な工夫をしながら公の礼拝を再開しております。しかし新型コロナウイルスは、収束したわけではありません。第二波・第三波を警戒しながらの生活がしばらく続きそうです。

神戸教区では、信徒の皆様が新型コロナウイルスの影響などで教会に行けないこと想定して、オンラインで主日礼拝を受けられるように、神戸聖ミカエ

## 9月の教区関係教役者 逝去記念聖餐式

日時 2020年9月3日(木) 午前10:30  
場所 神戸聖ミカエル大聖堂  
司式 主教 小林 尚明  
説教 司祭 柳本 博人

### \* 9月の記念逝去教役者

1日	伝道師	緒方政枝
3日	伝道師	上西八枝
4日	執事	ラザロ 布施好古
9日	伝道師	三宅福恵
10日	司祭	ステパノ 片山民治郎
12日	主教	ヘンリー エビンソン
13日	宣教師	レティシア エドワーズ
16日	司祭	ウイリアム マレー=ウォルトン
17日	司祭	アブラハム 米村勇雄
20日	伝道師	不明 吉田照子
不明	宣教師	ドロシー グレグソン

## 公 示

救主降生2020年7月1日  
日本聖公会神戸教区主教  
主教 オーガスチン 小林尚明

神のお許しがあれば、延期としておりました聖職按手式を下記の通り執行し、執事バルナバ永野拓也を公会の司祭職に叙任いたします。

主にある諸教会、兄弟姉妹のご加禱をお願いいたします。

### 記

日時：2020年8月22日(土) 午前10時30分  
場所：日本聖公会 神戸教区 神戸聖ミカエル大聖堂  
司式：日本聖公会 神戸教区主教  
          オーガスチン 小林 尚明  
説教者：司祭 ミカエル 小南 晃  
式典長：司祭 ペテロパウロ 柳本 博人  
祭色：「白」を用います。

\*新型コロナウイルス感染対策を施し、参列者を限定して行います。礼拝についての詳細は後日、お知らせいたします。



ル教会での礼拝(聖餐式前部)をホームページで配信しております。動画は、左記のQRコードからパソコン、スマートフォン、タブレットでご視聴いただけます。どうぞ、ご利用ください。



## 8月2日(日) 日本聖公会 青年活動のための日

この日の信施金は、日本聖公会青年活動のために献げます。信施金は、各教会から管区事務所に送金ください。